

平成26年3月10日公表
水産庁漁政部加工流通課

冷蔵水産物流通統計

(全国主要冷蔵庫)

平成26年1月分

2 主要品目別月末在庫量の上位7市町（平成26年1月分）

品目	1 位		2 位		3 位	
	市町名	在庫量	市町名	在庫量	市町名	在庫量
水産物計	東京都区部	194 354	福岡市	58 370	大阪市	52 389
生鮮品	ひたちなか市	426	名古屋市	147	下関市	57
冷凍品	東京都区部	174 567	大阪市	48 471	福岡市	46 782
まぐろ	焼津市	21 102	静岡市	13 098	三浦市	2 030
びん	焼津市	8 198	静岡市	2 761	気仙沼市	305
めばち	静岡市	5 075	焼津市	2 747	三浦市	1 798
き	焼津市	5 844	静岡市	1 644	枕崎市	419
くろまぐろ	静岡市	1 373	焼津市	548	福岡市	103
みなみまぐろ	焼津市	1 218	静岡市	557	川崎市	9
その他のまぐろ	焼津市	2 547	静岡市	1 688	東京都区部	568
かじ	静岡市	726	焼津市	660	三浦市	309
かつ	焼津市	9 704	枕崎市	6 951	指宿市	4 579
さけすし	東京都区部	25 138	小樽市	8 781	仙台市	7 233
にし	東京都区部	10 453	福岡市	540	小樽市	406
いわし	留萌市	2 067	小樽市	1 808	東京都区部	1 516
まいわし	神栖市	1 417	鹿児島市	1 296	東京都区部	1 250
その他のいわし	東京都区部	1 247	神栖市	1 106	唐津市	962
まさば	鹿児島市	1 147	八戸市	555	長崎市	533
さ	沼津市	10 897	東京都区部	3 564	唐津市	3 490
か	銚子市	14 453	八戸市	12 548	東京都区部	7 426
れい	白糠町	5 416	釧路市	3 048	東京都区部	1 702
たけとうだ	東京都区部	7 808	塩釜市	1 535	大阪市	974
すけとうだ	東京都区部	2 656	塩釜市	501	福岡市	406
すけとうだ	森町	631	留萌市	627	東京都区部	485
すけとうだ	東京都区部	1 542	塩釜市	1 516	名古屋市	815
すけとうだ	東京都区部	23 657	大阪市	22 763	福岡市	21 491
すけとうだ	東京都区部	11 349	福岡市	1 639	青森市	1 335
えび	東京都区部	39 928	大阪市	10 150	川崎市	6 350
い	八戸市	20 101	函館市	13 426	東京都区部	12 057
するめいか(まついか)	八戸市	17 463	函館市	11 066	佐世保市	1 660
こういか(もんごういか)	大阪市	2 067	東京都区部	1 623	川崎市	531
その他のいか	東京都区部	9 861	八戸市	2 638	大阪市	2 578
たけとうだ	東京都区部	8 686	大阪市	1 350	ひたちなか市	986
その他の水産動物	東京都区部	8 270	名古屋市	3 138	小樽市	2 022
くすけとうだ	東京都区部	1 823	下関市	177	長崎市	114
すけとうだ	下関市	4 848	川崎市	4 601	釧路市	X
その他のすり身	下関市	4 824	東京都区部	2 499	名古屋市	2 208
塩蔵品	福岡市	9 389	東京都区部	7 612	白糠町	5 751
さけすし	東京都区部	628	根室市	411	仙台市	349
またす	東京都区部	111	青森市	89	仙台市	43
たけ・ますの	福岡市	6 988	白糠町	4 885	小樽市	1 163
さけ・ますの	東京都区部	2 678	白糠町	809	札幌市	532
かすの	東京都区部	870	函館市	673	留萌市	414
その他の塩蔵品	名古屋市	4 871	東京都区部	2 626	福岡市	2 236
水産加工品	東京都区部	12 175	焼津市	8 800	神戸市	4 628

注：調査市町の範囲は平成25年1月1日現在のものであり、それ以降に合併が行われた市町については旧市町を調査範囲としている。
 釧路の「すけとうだすり身」は、個々の秘密に属する事項を秘匿するため、統計数値を公表しないものとする。

単位：t

4 位		5 位		6 位		7 位	
市町名	在庫量	市町名	在庫量	市町名	在庫量	市町名	在庫量
焼津市	47 489	八戸市	43 250	名古屋市	26 963	神戸市	26 817
福岡市	38	川崎市	37	金沢市	35	船橋市	26
八戸市	40 802	焼津市	38 318	川崎市	23 661	小樽市	22 372
指宿市	1 021	東京都区部	792	枕崎市	541	大阪市	466
石巻市	96	仙台市	37	いわき市	31	川崎市	21
指宿市	214	東京都区部	170	福岡市	164	気仙沼市	97
指宿市	368	三浦市	186	いわき市	136	福岡市	98
いわき市	28	名古屋市	10	川崎市	8	青森市	2
いわき市	6	福岡市	2	名古屋市	1	神戸市	-
大気石	458	指宿市	439	名古屋市	256	札幌市	172
仙沼市	214	千歳市	129	東京都区部	116	横浜市	46
石巻市	642	気仙沼市	294	静岡市	204	銚子市	203
白糠町	4 837	川崎市	3 593	札幌市	3 510	函館市	3 434
川崎町	360	仙台市	159	塩釜市	139	八戸市	121
函館市	1 348	札幌市	560	白糠町	554	仙台市	115
境港市	1 187	唐津市	1 163	長崎市	1 036	銚子市	1 013
石巻市	924	境港市	917	銚子市	728	枕崎市	541
福岡市	420	神栖市	311	銚子市	285	境港市	270
福岡市	1 466	境港市	1 195	銚子市	995	静岡市	821
石巻市	6 129	福岡市	5 913	唐津市	4 136	長崎市	3 341
銚子市	1 508	大船渡市	1 161	鹿兒島市	1 072	仙台市	939
福岡市	961	石巻市	847	小樽市	557	仙台市	543
小樽市	383	石巻市	350	仙台市	288	大阪市	250
紋別市	356	船橋市	232	小樽市	198	川崎市	150
石巻市	654	長崎市	328	福岡市	244	沼津市	227
仙台市	8 252	神戸市	6 865	下関市	5 240	小樽市	4 132
小樽市	1 224	紋別市	1 145	川崎市	973	広島市	961
名古屋市	4 020	福岡市	3 659	神戸市	3 176	札幌市	709
大阪市	4 713	神戸市	2 622	福岡市	2 506	川崎市	1 992
金沢市	835	青森市	728	石巻市	697	白糠町	650
静岡市	276	神戸市	207	函館市	160	名古屋	154
神戸市	2 358	函館市	2 200	福岡市	1 927	川崎市	1 393
名古屋	911	福岡市	691	下関市	459	沼津市	307
福岡市	1 703	札幌市	1 664	大阪市	1 340	神戸市	1 228
仙台市	71	佐世保市	69	銚子市	45	福岡市	41
紋別市	1 976	神戸市	1 930	東京都区部	1 842	大阪市	1 532
福岡市	1 954	神戸市	1 923	新潟市	1 446	焼津市	1 426
名古屋	5 283	横浜市	2 370	小樽市	1 554	札幌市	1 465
札幌市	331	名古屋市	229	船橋市	216	金沢市	148
白糠町	20	北九州市	20	八戸市	19	金沢市	18
北九州市	916	東京都区部	699	下関市	537	銚子市	286
八戸市	212	小樽市	209	銚子市	198	青森市	186
札幌市	299	船橋市	147	横浜市	138	小樽市	116
横浜市	2 008	八戸市	1 077	大阪市	1 000	気仙沼市	892
函館市	2 883	大阪市	2 841	枕崎市	2 698	名古屋	2 334

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、全国の冷凍・冷蔵工場における水産物の入在庫量、在庫量等を調査し、水産物の在庫の動向を明らかにして、水産物の需給計画、価格安定対策等を推進するための資料とすることを目的とする。

2 調査の対象

全国の産地40市町及び消費地14市区町を調査の範囲とし、これらの調査市区町の主機10馬力以上の冷蔵能力をもつ冷凍・冷蔵工場のうちから、累積冷蔵能力80%に達するまでの工場を選定して調査しており、平成26年1月現在の回答工場数は530で、うち震災の影響で33工場が休止している。(平成21年当初(651工場)と比較して約8割の冷蔵能力を対象としている。)

3 調査方法

調査方法は、オンラインによる調査協力者の自計調査、又は調査票の郵送による。

4 集計方法

月間入庫量及び月間出庫量についてはそれぞれの積上げ、月末在庫量については、前月月末在庫量に月間入庫量を加え、月間出庫量を差し引いて算出している。

5 目標(実績)精度

この調査においては、目標精度は設定していない。

6 用語の解説

(1) 月間入庫量及び月間出庫量の「対前月比」

$$\frac{\text{当月調査分の月間入庫量及び月間出庫量}}{\text{前月調査分の月間入庫量及び月間出庫量}} \times 100$$

このため、調査対象工場の変更があった場合には、その変更による増減が含まれる。

(2) 月末在庫量の「対前月比」

$$\frac{\text{当月調査分の月末在庫量}}{\text{当月調査分の前月月末在庫量}} \times 100$$

なお、調査対象工場の変更があった場合には、当月調査分の前月月末在庫量と前月調査分の月末在庫量は一致しない場合がある。

(3) 月間入庫量、月間出庫量及び月末在庫量の「対前年同月比」

$$\frac{\text{継続工場分の当月月間入庫量、月間出庫量及び月末在庫量}}{\text{継続工場分の前年同月月間入庫量、月間出庫量及び月末在庫量}} \times 100$$

7 その他

この統計調査結果の数値は概数であり、確定値は追って刊行する『水産物流通統計年報』に掲載する。

— 問い合わせ先 —

水産庁漁政部加工流通課 企画調査班
電話：03(3591)5612
(一社)漁業情報サービスセンター 流通課
電話：03(5547)6887